

個人情報の保護と活用について

バランスを図る事が重要



齊藤 隆 元議員

火災発生情報については、警報・注意報などの防災情報と共に、消防署が携帯電話へメール配信しているが、過去に公共施設以外の施設や個人宅を目標物として防災無線で放送したところ、苦情があつたため現在のような目標物設定をしており、情報不足しているとの意見がある事は認識している。

Q 個人情報の保護は守られるべき重要な事であるが、活用はどこまで可能か？

A 平成17年4月に前面施行した個人情報保護法は、個人情報の有用に配慮しながら、個人の権利利益を保護する事を目的としており、町としては「保護」と「活用」のバランスを図ります。

Q 各種団体に対して町から出る情報に差があり、活動に支障をきたしていないか？

A 町からの情報提供を必要とするのは民生委員・行政総務員・消防団員などであると考えられる。一律に全ての情報を提供してはいるが、必要に応じて要請のあった場合には、情報提供

は行っている。

返される事をまちとしてはどのように受け止め、対応してきたのか？

A いただいたご意見・ご要望全て行政が出来るものではない。可能なものは優先順位や費用対効果、地域の均衡などに考慮しながら実施するよう努めている。

Q 前原国土交通大臣の羽田空港の国際ハブ空港化発言以来、町民の関心も高まったがその後の説明が必要ではないか？また、成田空港圏自治体連絡協議会としての申し入れと、町内での発言に違いがあるのはなぜか？

A 昨年11月の広報で経過説明をしたが、その後新たな動きもなく推移している。内際分離政策は、成田空港に国内線羽田空港に国際線が乗り入れており、首都圏空港の航空需要に対応するため、共に補充し合い空港機能を高める事が必要である。



hicom.i.jp
ehtq9574@mac

戸別所得補償モデル対策について

新年度において、予算の再調整が必要ではと考えている



鈴木 克 征 議員

Q 「水田利活用自給力向上事業」に係る町予算は

A 「米戸別所得補償モデル事業」とセットで「水田利活用自給力向上事業」が行われることとなっております。予算編成するに当たります。21年度の生産調整の対応状況を参考として編成しましたが、今後計画書の取りまとめ、対応状況を見ながら予算の再調整が必要となるのではないかと考えております。

Q 水田を有効活用して生産できる作物の販売先確保と価格は

A 生産者からの希望のあった数量全量を受け入れられるように、千葉農政事務所をはじめとする関係機関または受入要望のある民間業者と協議をしていますので今しばらく時間をいただきたい。

Q 農林水産予算概算では、米戸別所得補償モデル事業3,371億円、一方農業農村整備事業は対前年度比36・9%の2,129億円の概要となっている様ですが、町工事実施事業に影響はないか

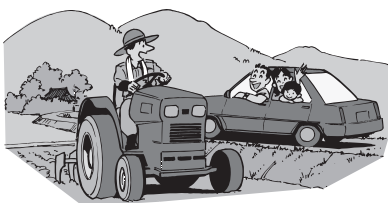
A 今後できるだけ影響のない様努力していきたいと思えます。

Q 町発注建設事業に対する町内業者の発注割合は

A 21年度発注件数は2月24日現在、79件執行しており土木工事33件、建築工事10件、その他工事10件の53件のうち45件が町内業者の受注となっております。受注割合で84・9%となっております。

Q 入札に総合評価方式を採用しては

A 総合評価方式については検討しているところで。しかし客観的な総合評価をどの様に出すのか難しい部分もあるので、国・県からの情報を吟味しながら今後積極的に進めてまいりたい。



敏速な行政と 健全な財政について

より慎重に取り組んでいきます



伊藤 園 樹 議員

Q 中学通学路の危険性国道横断の心配
A 県と町が実施した交通安全施設整備工事により一部が改善されたが、旧北海道屋前三叉路から坂田池に至る道路は見通しが悪く危

険である。今後は県が進めている県道横芝下総線バイパス道路整備事業の進捗状況等を勘案し安全な通学路の確保に向け協議を進める。

Q 栗嶋橋、長塚・北清水橋の整備、現状、方向性
A 栗嶋橋はすでに橋台橋脚二基が完成し来年度は護岸工、取り付け道路工事を行い24年3月までには完成予定である。寺方地先の県道まで800mの区間、合併特例債が活用できる27年度までに、地元の合意、理解を得ながら整備を図る。

長塚・北清水橋、光地先は道路整備交付金等が、平成23年度までの期限とし整備を進める。地元の合意、整備センター協議に思った以上に時間を擁したため23年度完成は厳しいところ。北清水側には、事業概要の説明、事前説明を実施し、理解協力を願いたい。広域農道接続区間1000mは歩道がない状況であり、道路改良と同様の水準で整備して行く。地元の合意、地権者の理解を得る説明会を実施してまいりたい。

Q 東陽病院MRI導入後、

診療内容、維持管理、建物の合意性

A 最近の機種は性能が向上しており、整形外科系の検査のほかに、消化器や脳、泌尿器等の検査にも有効に活用でき、より高度な診療を提供できる。年間維持管理費は1,200万円弱の見込み。診療報酬は基本的に17,500円となり、一年間696件の検査で、回収でき、一日平均3件で足りる。東芝メディカルに一括発注し本事業の財源が、経済危機対策交付金であることから、本年度中に終了する必要がある、工期を短縮することが出来ることと、建物の建設には特殊な磁気対策が必要であることから、本体と建物を併せ企画提案を求めたものである。



4年間を振り返り

町長の政治姿勢と感想は

完全ではないが一定程度の達成感、充実感がある



森川 忠 議員

Q 条例の改廃の検討について、例えば、児童館条例や交通安全条例を整備すべきかと思うが？
A 保護者が昼間家庭にいない小学3年生までの児童に対して放課後児童クラブを設置して対応している。また交通安全条例は交通安全対策基本法や県条例に基づき施策の推進をしているが今後検討したい。

Q 町長の政治姿勢について？
A 合併後初代の町長として旧両町の一体感を目指し醸成を図ってきた。栗山川

に架かる橋梁、駅前変形交差点改良、JR最終便の延長、小学生までの医療の無料化、などのほか行政改革も全力で行ってきた。今後私のモットーである「未来を創る住民の視点で」を基本に引き続き頑張つて参りたい。

Q 特別職の退職金について社会通念上高額と思うが計算方法と根拠は？
A 計算式は町長で月給(76万円)×在職月数(48か月)×支給割合(0.45)＝1,642万円、教育長は56万2千円×48か月×0.2＝539万円。千葉県市町村職員退職手当条例に基づき算出される。高額かどうかは一概に比較できない。

Q 住民基本台帳およびカードについて

A 住民基本台帳法に基づき国や行政サービスの基礎資料として使用している。ネットワークが構築されてからはパスポート、年金受給等事務の簡素化にも役立つ。今後は年金手帳、健康保険証などの役割を果たす社会保障カードとの一体化も検討されている。

Q ペットボトルキャップのリサイクルについて？
A 現在、学校、集会施設等で収集しており、協賛企業が回収、売却しその利益をポリオワクチンなど発展途上国の子供たちの命を助ける運動に寄与貢献しています。



